



「この仕事をやってみたい」初めてそう思えたのが、介護の仕事だった

佐久市根岸にある株式会社エスポワールは、介護事業を主軸に、雄大な浅間山を一望できる緑豊かな展望温泉レジャー施設を併設した複合型介護施設の運営のほか、保育園事業等を展開しています。

同敷地内にあるヘルパーステーションのぞみサンピアでサービス提供責任者として働く上原 幸治さんは、30代後半で異業種から介護業界に転職した一人です。

以前は製造業に従事していたという上原さん。介護の仕事に出会ったきっかけは、高齢者施設に入所した祖母に会いに行った時のことだったそうです。

「おばあちゃんに会いに行ったとき、ホールにいた利用者さんと楽しそうに会話をしている介護士さんの笑顔を見たんです。なんか楽しそうだなと。それが最初のきっかけでしたね」

その後も何度か実際の介護現場を見る機会があり、介護という仕事に次第に惹かれるようになったそうです。

そんな上原さんはもともと、おじいちゃんおばあちゃん子だったそう。

「父方の祖父母と一緒に暮らしていたこともあり、共働きの両親の代わりに保育園や小学校から帰ると、おじいちゃんおばあちゃんが面倒を見てくれました。母方のおじいちゃんもボウリングやマレットゴルフによく連れて行ってくれたり、幼少期は祖父母と一緒にいることが多かったですね」

そんな想いもあり入所している祖母の元にもよく訪れていたそうです。

○当時は工場でもベテラン職員。全く経験のない介護業界に転職するうえで不安はなかったのでしょうか？

「そうですね。以前の仕事は19年と長いほうでしたので……。介護の仕事は何の経験もないし、見たことしかない状態だったんでもちろん不安でした。でもやってみないと分からないし、何よりこの仕事をやってみたいと思えたのは自分でも初めての感情だったんです。学生の時からなかなかやりたいものが見つからなかった自分にとっては初めての事だったので、その気持ちに素直になったほうがいいなと思いました」

○新たな挑戦を決意した上原さん。入職後はどのような部署に配属されたのですか？

「初めは『さんぴあの家』という小規模多機能型居宅介護と有料老人ホームが一緒になっている施設で基本的なことを全て教えて頂きました。その後同グループ内の特別養護老人ホームなどでも経験させて頂いて、昨年の1月からヘルパーステーションのぞみサンピアで働いています」

「僕の場合、入職時は介護の資格は何も持っていませんでしたが、会社の資格取得支援制度も整っていたので安心して働くことができましたし、実務経験からの資格取得では最短の3年で介護福祉士に合格することができました。昨年からはサービス提供責任者という立場になり、また1からのスタートという感じで、先輩方から日々学んでいます」

「ありがとう」その言葉が原動力。目に見える形で結果が得られる仕事に魅了

「介護の仕事は、排泄介助や移乗介助など、しんどい部分もありますが、それ以上に利用者さんからの『ありがとう』という言葉は何より励みになりますし嬉しいですね。やったことが目に見えて、それに対して感謝の思いを伝えてもらえるこの仕事は、これまでとは違った魅力がありますね」

○上原さんが大切にしている想いとは……

「利用者さんが何に困っているのか、どんな願いをお持ちなのかなどを常に考えながら、利用者さんのお話を聞くことを大切にしています」

「訪問介護という部署にきて、やはり特養のような施設と訪問とではやり方に違いはあるのですが、どのような形態になっても自分の中で大切にしている想いは変わらないです。利用者さんからみると僕はサービス提供者ではあるのですが、堅苦しい関係性ではなく、人と人として、孫とおばあちゃん



のような壁のない関係性を築きたいと思っています。対利用者さんだけではなく職員間においても何でも話せる関係性でいたいですね」

この仕事に出会えて、明るい自分になれた



○介護職に就いて5年。これまでを振り返ってみてどのように感じていますか？

「介護の仕事始めて、色々な方とお話をするうちに自分の方が元気をもらえたというか、明るい性格になったように思います。自分が楽しそうに働いている姿を見て家族もとても喜んでくれてますし、祖母の介護にも専門的な目線で関われるようになりました。自分自身の性格的にも合っていたように思いますね」

○市民のみなさんにお伝えしたい想いはどんなことでしょうか？

「ご自宅で介護をされる上でお困りの事があれば、どんな些細なことでも一人で悩まずに地域包括支援センターやケアマネジャーなどに相談してほしいと思います。僕たちのような事業者もいますので、気軽に声をかけてくださればと思います」

(インタビューをしてみて)

「この仕事をやってみたい」そう思えたのは初めてだったというお話がとても印象的でした。30代後半での転職ということで勇気のある決断だったと思いますが、前職での様々な経験があったからこそ、より介護の魅力に気づくことができたのではないかと感じました。上原さんのインタビューを通して、自分自身を見つめること、主体的に生きることの大切さを教えて頂きました。サービス提供責任者となってもますます努力し続ける上原さんは、芯の強いとても優しい方でした。今後のご活躍も応援しています。